

「さわやか西中 あこがれの自分を求めて」
平成28年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成28年12月22日(木)発行 第 36 号 発行責任者:高橋 弘悦

充実した活動に感謝！

本日をもって2学期終了

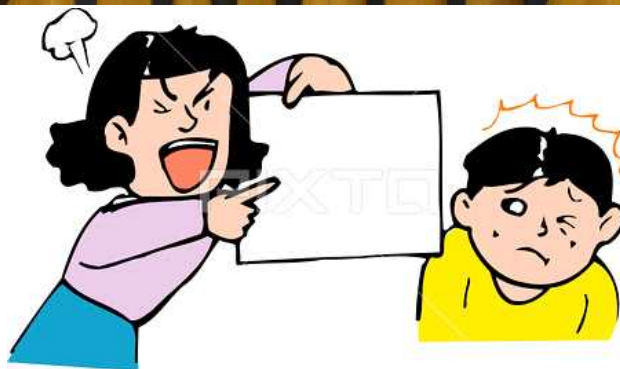
初の合唱コンクール出場と優良賞受賞、全てにエントリーした陸上競技大会、そして12年ぶりとなる新人バドミントン女子団体の優勝など、この2学期も走り走り続けた活動の学期となりました。



様々なことに全力で取り組み、大きな成果を上げた2学期も本日をもって終了です。保護者の皆様には、いろいろとご協力・ご支援いただき、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

毎日見ていると、その成長にはなかなか気づけないものですが、あらためて一人ひとりを見ると、大きく成長しているのがわかります。遠慮がちだった1年生も、行事で中心となって活躍できるようになりました。2年生も中体連新人大会等の活躍で自信をつけ、堂々と学校をリードできるようになりました。3年生は、放課後の学習会で真剣な学習がなされています。

本日通知票を渡しました。受け止め方によって様々な解釈ができる通知票です。この2学期、「どう成長したか」「どんなことをがんばったか」などを話し合っただけならば幸いです。では、よいお年をお迎えください。



pixta.jp - 7622177

学校アンケートから

学校アンケートの結果を19日に配付させていただきました。ご協力いただきありがとうございます。保護者の方、生徒とも高い評価をいただき、今後も一層充実した活動を展開しなければならないという誓いを新たにしましたところ。結果の詳細は19日付けの文書を見ていただきたいと思います。ご指摘いただいた件について少しご説明させていただきます。

- ・ 沢山のスケジュールをこなしているようです。消化不良にならないことを望みます。
- ・ 行事の詰め込みすぎにより、本業がおろそかにならないかという点です。

A ご指摘のとおり、本校生徒はいくつもの役割を苦にすることなく平然とこなしています。「よくやるなあ」というのが率直な感想ですが、指導に当たっては、子どもの状態をしっかり見極めながら取り組ませることを基本としています。子どものやる気を第一に、そして第二に、やり過ぎによって子どもの別の面のよさをつぶすことにならないよう十分注意して指導に当たりたいと思います。

本業の「学習」ですが、これまでの学校だよりも記載しましたとおり、11月を学力向上月間として、SBタイムを2単位時間実施し、学力の向上に努めて参りました。また、12月からは、このことに加え、冬期間の健康維持、自主的な学習態度の育成、余暇の活用能力をのばすことをねらいとして、週2日ノー部活デーを設けています。なお、生徒の学習意欲については、設問13に現れているように1学期3.17が生徒評価で3.52に向上しています。このことは設問11(3.58→3.83、設問12(3.54→3.92)の成果であると思っています。

小規模校のメリットでもあり、デメリットでもある多方面での活動を余儀なくされる本校では、活動にメリハリを持たせることでその課題を解決していきたいと考えています。ご理解、ご協力をお願いします。



- ・ 学校生活も生活の一部、家庭生活も生活の一部。切り離して考えるべきものではない。連続性のあるものという考えも必要だと思う。

A 本校でもこのことを基本に、学校での習慣が家庭で生かされ、家庭でのがんばりが学校で発揮されることを目標に指導しています。

設問4：自己の生活管理では、保護者の評価2.92に対し、生徒の自己評価が3.25と受け止め方に差があるようです。生徒自身は「やってるつもり」が、保護者の方からは「もう少し」という思いがあるのかもしれませんが。

本校には「生活ノート」があり、教師が毎日そのノートで自宅で諸生活状況についてアドバイスするようにしています。家庭での自己管理能力を高めることがねらいです。気になることがあればぜひ学校までご相談ください。

もうひとつ、生徒と保護者の方の評価に乖離がある項目の一つに設問8：「あいさつ・言葉遣い」があります。どこにいてもどのような場所でも、西中生らしい爽やかなあいさつや言葉遣いができることが願いです。家庭・学校が手を携えて共に取り組んでいきたいと思っています。